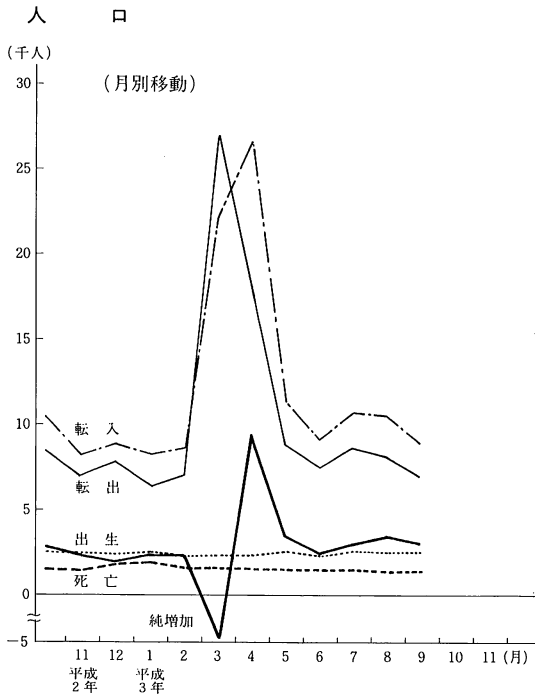
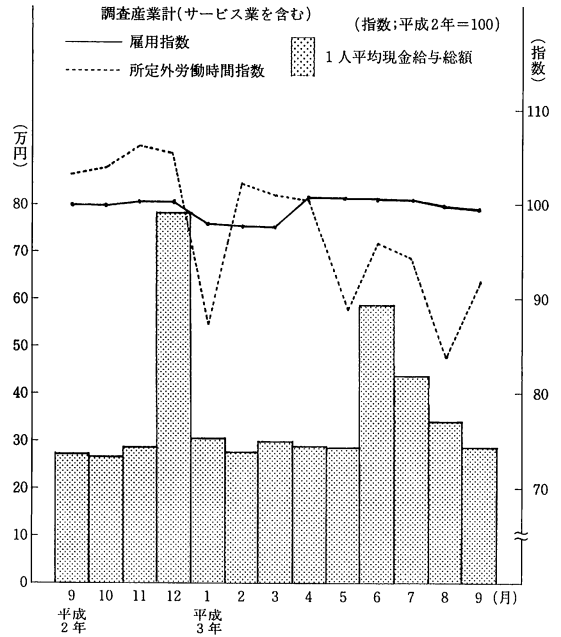


● 今月の主な動き

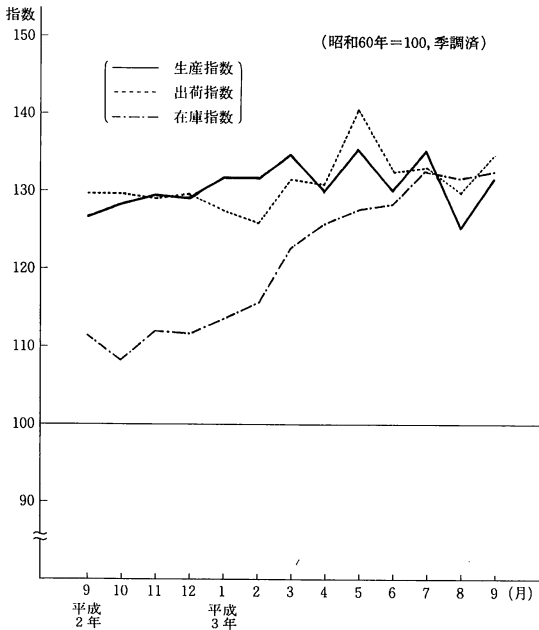
今月の主な動き



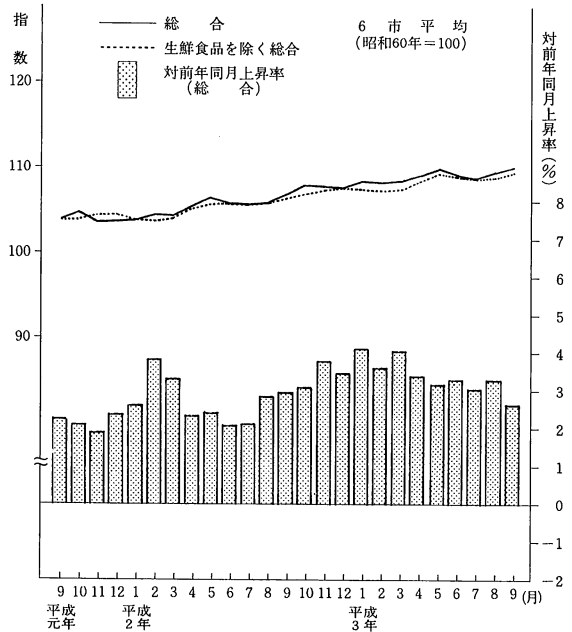
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(10月1日)

本県の人口は、9月中に3,072人増加し、10月1日現在で2,877,242人(男1,436,424人,女1,440,818人)となった。

内訳は、自然動態で1,116人(出生2,475人,死亡1,359人)増加し、社会動態で1,956人(転入9,044人,転出7,048人)増加した。対前年同月と比べると31,860人(1.12%)の

増加である。

市町村別では、増加が19市51町村,減少が1市13町村,増減なしが4町村である。

世帯数についても9月中に、1,514世帯増加し855,716世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で288,111円,対前年同月比6.0%増,このうちきまって支給する給与は283,861円,対前年同月比5.0%増であった。また、このうち所定内給与は253,584円,対前年同月比6.4%増であり,超過労働給与は30,277円,対前年同月比3.9%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比2.8%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は、調査産業計で173.3時間,対前年同月比3.0%減であった。このうち所定内労働時間は155.5時間,対前年同月比2.1%減,所定外労働時間は、17.8時間,対前年同月比11.1%減であった。

3. 雇用の動き

9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.5%減であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(9月分)

本県における平成3年9月の「鉱工業指数」(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が131.7,出荷が134.5,在庫が132.5で、前月比は、生産が5.0%の上昇,出荷が3.4%の上昇,在庫が0.7%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.1%の上昇,出荷が3.6%の上昇,在庫が19.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、一般機械工業,石油・石炭製品工業精密機械工業等が上昇し,鉱業,金属製品工業,その他工業等が低下した。出荷では、電気機械工業,

精密機械工業,鉄鋼業等が上昇し,鉱業,金属製品工業,その他工業等が低下した。在庫では、鉱業,繊維工業,食料品・たばこ工業等が上昇し,輸送機械工業,電気機械工業,石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、資本財,その他用生産財等が上昇し,耐久消費財,鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、資本財,その他用生産財が上昇し,耐久消費財,建設財等が低下した。在庫では、非耐久消費財,耐久消費財等が上昇し,その他用生産財,建設財等が低下した。

■消費者物価指数(9月)

平成3年9月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で110.1(昭和60年=100)となり、前月比0.5%の上昇,前年同月比2.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着11.5%,衣料9.3%,果物2.3%,生地・他の被服類2.0%

今月下がった主な項目……野菜・海藻△1.0%,魚介類△0.9%

生鮮食品を除く総合は109.6となり、前月比0.6%の上昇,前年同月比2.9%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	110.1	0.5	2.7	保健医療	106.4	0.3	0.4
食 料	110.3	△0.1	3.0	交通通信	103.7	△0.2	1.0
住 居	122.2	△0.1	4.0	教 育	125.6	0.1	0.9
光熱・水道	92.4	0.0	2.1	教養娯楽	113.7	△0.6	3.9
家具・家事用品	102.2	△0.7	1.7	諸 雑 費	107.5	0.2	1.1
被服及び履物	118.6	7.8	5.0	生鮮食品を除く総合	109.6	0.6	2.9